



腫瘍内科医

山下 芳樹



血液内科

蜂矢 健介

医局のリアル vol1

Q 今日血液内科の蜂矢先生にお話を聞いていきたく  
と思います。蜂矢先生は医師になって何年目です  
か？

A 8年目です。

Q 蜂矢先生は、1歳のお子さんがみえるんですね？

A はい、9年生のときに学生結婚して、研修医一年  
目に息子が生まれました。

Q 忙しいと思いますが、息子さんとは遊んでいます  
か(笑)？

A はい、血液・腫瘍内科では、週末も交代で休める  
ようになっていきます。最近、小学生の息子と山登  
りをするのが週末の楽しみのひとつです。

Q 三重大学に來られる前はどこで研修されました  
か？

A 四日市市立病院です。

Q 出身は愛知県で、大学も名古屋市立大学ですよな  
ね。なぜ、四日市で研修をうけることに決めたのですか？

A 妻が四日市市出身なんです。

Q なるほど、四日市市立病院は、内科では血液内科  
だけが三重大学が医師を派遣しますからね。三重大  
学の血液・腫瘍内科との縁が見えてきたわけですね  
(笑)。

血液内科を専門に決めたのはいつ頃ですか？

A 学生の頃は内科系で全身を診られる医者になりた  
いと漠然と思っていました。

四日市市立病院で研修医をはじめた頃は、総合内科  
を目指そうと思っていましたが、血液内科を廻った  
ときに、サブスペシャリティーは血液内科にしよう  
と決めました

内科医として全身を診るうえで、血液内科の専門性はたいへん強みになる

Q 血液内科をサブスペシャリティーにしようと決  
めた理由はなんですか？

A 内科医として全身を診るうえで、血液内科の専  
門性はたいへん強みになると確信したからです。

本当に尊敬できる血液内科医の先生に出会ったの  
も大きかったと思います。血液内科医の先生方が、  
患者さんのみならず他科の先生方からも非常に頼  
りにされている姿をそばでみているうちに、自然  
とこの先生方と同じ医局に入りたいという気持ち  
になりました。

Q 最近若い先生方の中には、医局に入局する  
ことにマイナスのイメージを持たれている先生が  
多いと聞きますが、蜂矢先生はどうでしたか？入  
局して感想は？

A 私の場合は、家庭をもっていたこともあり、ホー  
ムがあるという安心感を感じました。たしかに医  
局にもよるでしょうけど(笑)、血液・腫瘍内科は  
医局の雰囲気もアットホームでいいですし、大病  
を患って休まざるをえなくなったときなどに助け  
合う様子などをみると、やはり安心感があります。  
Q 今日いろいろな話をお聞かせいただき、ありが  
とうございました。最後に蜂矢先生にとって、  
professionalとは？

A そうですね……。まだ語れないですね。